

令和5年度 授業改善のための校内研修会のまとめ

大田区立糀谷中学校

1 校内研究のテーマ

主 題 生徒が主体的に学習に取り組むための工夫
取組の重点 「評価と指導の一体化」「タブレットの効果的な活用」

2 研究の流れ



3-① 研究の内容 【評価についての事例研究】 (主に主体的に学習に取り組む態度について)

《数学》

- ・「振り返りシート」の記述から、自らの学習状況の把握と関心・意欲・態度の把握を試みている。
- ・「テスト直し」レポートを思考、表現力の評価・指導に生かしている。

《理科》

- ・スクールタクトに変化前後の写真を貼り付け、実験・観察の結果をまとめさせている。
- ・ノートの記述の仕方の工夫を促し、評価している。

《音楽》

- ・どこまでできるようになったかをスクールタクトに記入させ、書き込んだ内容を全員で共有する。
- ・カメラで目標の部分を歌唱したところを録画させ、提出させる。

3-② 研究の内容 【ICT活用研修】

《道徳》 題材名「情報モラル・デジタルシチズンシップ」

講話「ポストGIGAに向けて」の感想から

- ・フィンランド、エストニアなどICT教育先進校の状況や、「ふきだしくん」「ChatGPT」など新たなコンテンツのワークショップなど最新の情報を知ることができた。
- ・「個別最適な学び」「協働的な学び」の理解が深まった。



3-③ 研究の内容 【授業研究】

《1年理科》 単元名「身のまわりの現象」

成果と課題 ・実際にミニ風を揚げながら、生徒が意欲的に授業に取り組んでいた。

- ・支援が必要な生徒への対応が課題である。

講師から ・理科では観察・実験を通して授業を進めていく。今日の授業も丁寧な進め方で良かった。ICTも自然な活用の仕方良かった。



《2年保健体育》 単元名「武道（柔道）」

成果と課題 ・タブレットを活用したことで、生徒間のコミュニケーションが生まれた。

- ・体育でタブレットをどう活用するかは課題である。

講師から ・よく準備された授業であった。大外刈りは、中学で扱う技の中でもケガが多い技の一つである。安全に楽しむための工夫とグループの組み方の工夫を。



4 研究のまとめ

《評価と指導の一体化について》

成果 各教科の「主体的に学習に取り組む態度の評価」を冊子にまとめた。(3年目)

課題 評価の精度を高めるために、評価材と評価方法について、継続して研究していく必要がある。

《タブレットの効果的な活用について》

成果 タブレットの活用については、教師のスキルも高まり、年々活用の幅が広がっている。

課題 タブレットを活用したことによって生徒の学力がどのように高まったのか、検証していきたい。